

平成28年 春発行



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

秋田赤十字乳児院

理念

私たちは、赤十字精神のもとに、子どもたちの権利擁護と最善の利益を守り、心身ともに健やかな成長を図ることのできる愛情のこもった養育環境を提供します。

広報誌 第41号

よちよちちゃん



平成 28 年度 スローガン

学び合おう！

～ 一人はみんなのために！
みんなは一人のために！ ～



院長 保坂 美貴子

秋田赤十字病院から転勤し 25 年目の春、院長として 4 年目を迎えようとしています。少子化の最先端である当県での施設運営や、赤十字施設としての特色を出すことなど、日々課題を抱えながら業務にあたっております。

近年は虐待をうけた子どもが入所児の 3 分の 1 以上を占めており、心が痛くなる思いです。そのため、夜間や休日の一時保護入所もあり、職員には難儀をかけています。

乳幼児期は人格形成に大きな影響を与える大切な時期です。たくさんの愛情を受け、大切にされることを経験することで愛着形成や信頼関係の構築ができます。この大切な時期の子どもたちを大事に育てていくのが我々の責務です。

当院では、子どもの家庭復帰のための保護者支援や里親委託に向けた支援にも力を入れております。今年度は「里親支援機関」の指定を受け、里親制度普及促進や里親トレーニング事業を新たに行います。さらに、近所の一軒家「ひだまりのいえ」（右図参照）を借用し家庭体験事業も実施します。



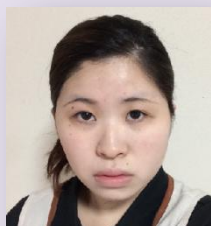
国の方針では、すべての乳児院の居室を平成 41 年度までに小規模グループケア室に対応させる予定です。小規模グループケア室は職員同士の目が届きやすく、他の施設では職員からの虐待が報告されております。そのため、職員の資質向上が必須であると考えております。



当院が学びの 3 本柱としている「乳幼児養育指針」、「そだれん」、「ポータージ」を中心に学び合い、よりよい養育を目指して参りたいと思います。

最後になりましたが、「ひだまりのいえ」で使用する家財等は皆様からの寄付金で準備させていただきました。本当にありがとうございました。

新人の写真と紹介



高橋保育士



大沼保育補助



佐々木保育士



石郷岡調理員



小玉看護師

ひよこ組

「アチャチャ〜」「ダッダー」とお話す子どもたち。内緒の会話がどんな内容か聞いてみたいものです。ことばの源がたくさん生まれ始めているひよこ組さんです。

水澤



どんな楽しい会話をしてるの？

ぱんだ組

一番上のお兄ちゃんが1歳8カ月のぱんだ組。ヨチヨチ歩いたり、ハイハイをするその姿がとっても可愛く癒されています。あたたかい雰囲気の中で、明るくスクスク育ちますように〜

鈴木（ま）



芝生の上でもよいしょ、よいしょ



ぼんび組

1歳10カ月から4歳半まで、個性豊かなメンバー8人のぼんび組です。時々、聞いて覚えた歌を自分の知っていることばに替えて歌っていて笑ってしまいます。「♪モモタロさん、モモタロさんお腰につけたキリタンポ〜♪」「?!」「♪アンパンマンは耳さ〜♪」（♪君さ〜なんだけど…）

田口（聡）



楽器もこなす音楽集団

ことり組

ことり組のリーダーは同い年の男の子コンビ。はりきってお手伝いをしてくれる頼もしいお兄さん達です。ちびちゃん達も負けじとまねっこ。憧れのお兄さん目指して頑張れ〜！

（根田）



お手伝い大好き！新ことり組！



第8回「もっとクロス！大賞」グランプリ受賞！！

全国の日赤各施設が行っている広報活動の事例を募集し、優れた活動を表彰して社内で共有することにより、広報活動の促進と質の向上をめざす「もっとクロス！大賞」。

平成28年2月、東京で開催された全国広報担当者会議にて、なんと・・・！私たちが・・・！驚くなかれ・・・！グランプリを受賞いたしました（驚）！

担当職員のK極は、「子どもの幸せに待ったなし！」、「里親制度の広報活動、私がやらねば誰がやる！」と5分の制限時間ギリギリまで熱弁！

これからも、想いは一つ。“すべては、子どもたちの幸せのために”



善意寄付

(平成28年2月～平成28年4月)

- ・協働大町ビル株式会社 様
- ・村上 様
- ・株式会社 スエ商会 様
- ・三和物産 様
- ・匿名

ありがとう
ございました



編集後記 ～スタッフから一言～

空を自由に泳ぐ鯉のぼりたち。年度末の忙しさに私も、風に乗って…と現実逃避している今日この頃！みなさんいかがお過ごしでしょうか？

「屋根より～高い～鯉のぼり～♪」風がない日、「今日は、鯉のぼり泳いでないね」と子どもが言い、「うちわで、扇いでみたら？」と職員に言われ子どもと一緒にうちわで扇ぎにお外へ。頑張ってパタパタ扇ぎましたが、ほんの少しだけしか泳いでくれず…でも、子どもは満足そう！子どもと楽しいひと時、癒しの一コマでした。

田口（知）

■編集・発行 秋田赤十字乳児院
〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町 100-3
TEL 018-884-1760 FAX 018-884-1762
電話相談 018-884-1761 (8:30～23:00)
URL <http://www.akita.jrc.or.jp/nyujiin/>